

リハビリホームボンセジュール三鷹における陽性者対応の経過

日付	病日	感染者		対応		職員の状況
		居住系施設利用者	職員	事業所	外部	
2020年 7月20日	1日目					
7月21日	2日目					
7月23日	4日目			○ 入居者 A を居室対応とし、本部へ報告		
7月25日	6日目			○ 職員 A が解熱して 48 時間以上経過したため勤務再開とする。		
7月27日	8日目					
7月28日	9日目					
7月29日	10日目			○ 保健所に連絡 ○ ホーム独自の判断によるゾーニング開始、PPE 適用		○ 法人本部から取締役、事業本部長、事業部長、その他運営サポートの職員が計 12 人現地入り（第 1 陣は 7/29 ～、第 2 陣は 8/1 ～。終了時期は 8/10 ～ 8/20 頃で五月雨式に解散、1 名のみ 9/3 まで滞在）
7月30日	11日目			○ 濃厚接触者判断に基づくゾーニング開始	○ 保健所来所、濃厚接触者の洗い出し	○ 応援の介護職員 30 人が現地入り（原則として第 1 陣 7/30 ～ 9/3 まで、第 2 陣 8/1 ～ 8/20 前後まで、終了時期は五月雨）
7月31日	12日目			○ 入居者家族への連絡	○ 入居者 A、職員 A、B の濃厚接触者として入居者 12 人、職員 13 人に PCR 検査実施	○ ホーム長、ホーム長補佐を含む職員 13 人が濃厚接触者となり自宅待機となる ○ 応援の事務職員 1 人が現地入り（～ 8/1 まで※家族の反対により早期終了）
8月1日	13日目			○ ダイニングでの食事提供を中止し、全館居室配膳とする。	○ 入居者、職員全員の検査をするため、入居者 49 人、職員 26 人に検査実施	○ 応援の看護師 2 人が現地入り（～ 9/3 まで※内 1 人は～ 8/23 まで）
8月2日	14日目					
8月3日	15日目			○ 入居者家族への連絡 2 回目	○ 保健所来所、感染対応状況の把握と疫学調査	
8月4日	16日目			○ 保健所指導により全館を濃厚接触者として、レッドゾーン化	○ 保健所来所、変更したゾーニングの確認	
8月5日	17日目			○ 市が情報公開		
8月6日	18日目					
8月7日	19日目			○ 入居者家族への連絡 3 回目		
8月8日	20日目				○ 8/6 陽性の職員の濃厚接触者として 6 名の入居者と発熱等の有症状の入居者 4 名の検査実施	
8月13日	25日目				○ 8/2-3 で陽性になった 5 名の入居者の濃厚接触者として職員 5 名の PCR 検査実施	
8月17日	29日目			○ 入居者の退院開始		○ 濃厚接触者、陽性となった職員も順次復帰する
8月20日	32日目			○ 全館のレッドゾーン化は終了し、ゾーニングの変更 ○ 引き続き健康観察期間として保健所の指導により座席数を減らしてダイニングでの食事提供を再開、浴室で複数の入居者が重ならないようにオペレーションを変更。 ○ 入居者家族への連絡 4 回目	○ 保健所による感染対応強化期間終了（収束）	
9月3日	46日目			○ 健康観察期間終了、以後通常運営 ○ ゾーニング解除 ○ 入居者家族への連絡 5 回目	○ 保健所による健康観察期間終了	